



東本郷

元気なあいさつ 明るい笑顔あふれる チーム東本郷小

学校だより

令和3年1月8日発行

川口市立東本郷小学校

未来は元気だよ

校長 井上 千春



新年あけましておめでとうございます。

保護者、地域の皆様には、穏やかな新年をお迎えのことと存じます。昨年は、本校の教育活動にたくさんのご支援、ご協力をいただき、誠にありがとうございました。本年もどうぞよろしく願いいたします。

さて、昨年は年明けから新型コロナウイルスというこれまで誰も経験したことのないウイルスに悩まされ、今まで日常として行ってきたことが制限された一年となりました。年が明けて、今年こそはウイルスが終息し、安心して生活できる世の中になってほしいと願うばかりですが、二度目の緊急事態宣言が出され、さらに厳しい新年の始まりとなってしまいました。テレビでは、連日新型コロナウイルスの感染状況や医療体制の逼迫が放送され、近くの飲食店も閉店を余儀なくされるのを目の当たりにし、益々未来はどうなってしまうのだろうと不安になる毎日です。そのような中、昨年4月にドラえもんから以下のようなメッセージ広告が発信されたのを思い出しました。

きみがうちに来てくれたから ちゃんと手を洗ってくれたから 家族を想ってくれたから
ともだちと支え合ってくれたから やさしい気持ちでいてくれたから 病気の人を助けてくれたから
みんなのために働いてくれたから 未来をあきらめないでいてくれたから
だいじょうぶ 未来は元気だよ

このメッセージは、マスクをしているドラえもんからのメッセージ。22世紀の未来を知るドラえもんからの「大丈夫」の言葉は、多くの人に安心と元気を与えました。（もうご存知の方も多いかもしれませんね）

これらの広告は、藤子プロと藤子・F・不二雄ミュージアムが開始した「ドラえもん『STAY HOME』プロジェクト」の一環です。昨年、ドラえもんはコミック連載50周年でした。作中に、ドラえもんの「未来なんてちょっとしたはずみでどんどん変わるから」という言葉があるそうです。未来を信じるという大切な気持ちは、不安が心の中を支配していると忘れてしまいがちですが、ドラえもんは「未来を信じよう」というメッセージを、ずっと届けてきたのです。

このメッセージを見て、多くの方から「涙が出た」「ドラえもんに言ってもらえると安心した」と言った声がよせられたそうです。

相手の気持ちを考えず、誹謗中傷することの多い世の中。だからこそ、温かい気持ちや支え合う気持ち、未来を信じようという気持ち、そして作者の藤子・F・不二雄さんが一番大切にしている「他人を深く思いやる」気持ちの和が広がっていくとよいですね。

新たな年が始まりました。今年も健康で充実した学校生活を送ることができるよう、全教職員で児童一人一人への指導・支援を行ってまいります。

最後になりましたが、保護者及び地域の皆様方には、昨年同様本校の教育活動にご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。